

## 令和7年度 第3回公民館運営審議会会議録

日 時 令和8年1月21日（木）

午後2時00分から午後3時30分まで

場 所 市役所新館1階 会議室4

出席者 神谷委員、中野委員、奥住委員、三輪委員、黒田委員、斎藤委員、都築委員、今井委員

事務局 教育部長、課長、担当係長、担当

司会進行 係長

1 委員長あいさつ

委員長が議長となり議題の進行を行う。

2 議題

（1）令和7年度前期公民館事業実績について事務局から説明

質疑等

委 員 アンケートの傾向を見ると、公民館講座を初めて受講する方、30代の方、男性の方の参加が低いように感じられる。こういった結果を受けて事務局としてはどうしていきたいか考えはありますか。

事 務 局 来年度は、初めての試みとして夜間の講座を企画し、現役世代の参加を促そうと考えています。

委 員 夜間の講座というのは30代の参加を狙ったものですか。

事 務 局 30代のみというものではなく、広く現役世代をターゲットとしたものです。内容も金融をテーマとした講座を開き、比較的多くの方が興味を持つであろうものとしました。

また、委員の皆様からおすすめの講座などがありましたら情報をいただけますと幸いです。

委 員 30、40代の参加者数が少ないことは、以前からたびたび議論となります。委員の皆様からこの世代の参加が増えそうな講座の提案がありましたら聞かせてください。

委 員 30、40代といえば、学校の保護者世代です。PTAの場でも豊明市のスマート条例関連で情報モラルなどの研修を行いたいという声があるので、この保護者世代を取り込める内容にするといいかかもしれません。

事 務 局 昨年、桜花学園の先生を講師として思春期の子どもに関する講座を企画したのですが参加者数があまり芳しくありませんでした。子育て世代が

- 聞きたそうなテーマで開催することとしても伸び悩むため、迷いが生じているところです。
- 委 員 参加者少なくなりがちな理由として、知らないという理由も多くあると思います。良い内容の講座でも情報が行き届かず、気づかれないまま終わっていくのは悲しいので情報伝達方法の工夫も必要だと思います。
- 委 員 子どもが受ける講座には親が付いてくることが多いと思います。同日に親世代が受けられそうな講座を開催し、子どもの送迎をしつつ自分たちも学びができるという仕組みはできないでしょうか。
- 事務局 新しい観点だと思います。そういった仕組みができるよう前向きに検討していきたいです。
- 委 員 とある図書館で大人と子どもがひとつの本について話をし、交流をするといった試みを行っています。どちらかといえば子どもが主体ですので子どもが読める本についてという制限はありますが、南部公民館は図書室がありますのでそういった内容も行えるのではないかと思います。
- 事務局 少し別の話にはなってしまいますが、図書館からスペースの有効活用案としてイベントの告知スペースに講座の告知をさせてもらう1か月の間、講座の内容に関連する書籍を置いてもよいという情報がありました。講座を受ける前に書籍で予備知識を入れた上で講座を受けることでこれまでとは違った学びが生まれるのではないかと思いますので、こういった使い方ができるように方法を検討していきたいと考えています。
- 委 員 実績一覧を見ていると、5月31日の講座の参加者が特に多く、なぜなのか考えてみるとこの日が第5週だからかな、と感じました。もしかしたら5週目は他の習い事などが多くお休みにはまっているなどのことが考えられるため、人を集めるという観点では参考になるのかなと思います。
- また、先ほど親子での講座の話がありましたが、子どもだけでは危ない講座を開催する場合には確実に親を付き添わせてもらい、子どもと親が別れる講座は子どもだけでも安全にできる講座にするようにしてください。
- 委 員 講師を務められた方にアンケート結果などの受講者の反応は伝えていますか。
- 事務局 回収したアンケートをまとめてデータ化し、講師に提供しています。
- 委 員 そのまとめをもとに、次回の講座をより良いものにするよう講師と議論はしていますか。
- 事務局 現在は議論までは行っていません。
- 委 員 データを渡しているだけでは、事務局がデータとしてまとめている努力が無駄になってしまっていいこと止めてもいいのではないでしょうか。止めることによって事務局の負担も軽くなりますし、その負担減

- の分でさらに良い講座を企画するということもできるかと思います。
- 事務局 検討事項のひとつとして受け止めさせていただきます。
- 委員 受講者の感想をなにかの媒体で市民向けに発することはできませんか。
- 事務局 広報のまちの話題に掲載されることもありますが、生涯学習課独自でSNSなども運用していませんので積極的には発信できていない状態です。
- 委員 アンケートに受けてみたい講座の欄がありますが、この声を受けた上で講座を企画していますか。
- 事務局 あまり特殊な分野を希望されている場合には対応が難しいですが、健康に関することが多く求められる傾向がありますので、確実に入れるようにしています。
- 委員 市民を巻き込んで一緒に講座を考えるというのは難しいですか。
- 委員 アンケートの最後に「一緒に講座を作っていただける方募集！」なんて一言を書いても面白いかもしれませんね。
- 委員 それを行っているのは家庭教育学級ですね。
- 事務局 そうですね。家庭教育学級というものがあり、各学校単位などでお母さんたちが集まって、みんなでやりたい内容を考えて、講師と話し合いをして講座を作り上げていく事業があります。

## （2）令和8年度前期公民館事業予定について事務局から説明

### 質疑等

- 委員 公民館講座の「ギリシャ神話と楽しむ夏の天体観測講座」について、この文言だと違和感があるため、「ギリシャ神話を手がかりに楽しむ夏の天体観測講座」とした方がいいのではないかでしょうか。
- 事務局 一度、講師と協議します。
- 委員 金融の講座のライオライトというはどういう会社でしょうか。
- 事務局 東郷町で講座の実績がある会社です。
- 委員 利益誘導型の話とならないよう気を付けてください。
- 事務局 講師と調整して公民館講座として相応しい講座にします。
- 委員 AIの講座で中部大学が会場となっていますが、春日井市へ豊明市のバスで乗り合わせて行くのでしょうか。
- 事務局 そのように予定しています。

## （3）令和7年度公民館まつりについて事務局から説明

### 質疑等

- 委員 資料に「スポーツ推進員」とありますが、「スポーツ推進委員」ではないでしょうか。かつて、ものすごくこだわる方がいらっしゃったので気を

付けてください。

事務局 ご認識のとおりです。今後、誤りのないように気を付けます。

委員 資料に「ニュースポーツ」という記載がありますが、個人的には「軽スポーツ」の方がより楽に体を動かせることが伝わりやすいように思います。スポーツ推進委員会にて名称の協議をしていただくようご一考ください。

事務局 担当者へ申し伝えます。

委員 サークルの実演の項目で、太極拳と合唱を視聴覚室で行うとなっています。昨年の実演は大会議室と視聴覚室全てを使って発表していたものがこうなってしまうとスペース的にかなり厳しいのではないかでしょうか。また、合唱のすぐ近くでニュースポーツという計画ですが、スポーツが盛り上がって声が上がりだすとあまり合唱との親和性がないように思います。

事務局 9月に開催したサークル代表者会議にてサークル様にはお伝えし了解を得ていると認識しておりますが、後ほど確認いたします。

また、個別の事項については後ほど関係団体様と連絡を取り、調整をいたします。

委員 前回の公民館まつりの反省点があるかと思います。それらを踏まえてどのように改善を試みたか思いがきましたら教えてください。

事務局 公民館サークル様の展示や実演が少なくなる中、昨年度はこの南部公民館を若い世代など多くの方に知ってもらうという狙いで事務局にて縁日を行いました。今年度はもう少しそこをブラッシュアップさせたいと考えています。お祭りといえばなにかを買って食べるというイメージがあり、それができないのは少し寂しいと思ったため、作品展示を行っているメイツ様にシフォンケーキの販売をお願いしました。また、ワークショップについても通常公民館で行うものとしては価格帯が上がってしまいます、よりクオリティの高いものを提供して集客を狙っていきたいと考えています。

委員 昨年のお客として参加しましたが、展示物を見ていいな、やってみたいなと思っても連絡先を知る方法がなかったので、チラシを置いてもらったり、誰かサークルの人立っていてもらったりした方がよいのではないかと感じました。

事務局 昨年も委員からご意見をいただいておりましたので、今年からは日曜日のみとなってしまいますが、午前10時から正午までの間、サークルの方1, 2名に居てもらい、又、チラシなどを配置するようにいたします。

(4) 今後の南部公民館のあり方について事務局から以下のように説明

前回の審議会では、南部公民館の利用率向上を目的に、営利目的利用の拡大及び使用料の見直しについて意見交換を行った結果、委員から公民館本来の趣旨が不明確になることへの懸念や、営利・非営利の明確な基準が必要との意見が出されました。

これを受け、営利目的利用は一旦保留とし、市内他公共施設の事例を参考に、非営利の範囲で利用幅拡大を検討することとして、併せて、共生交流プラザ「カラット」のような柔軟な運営を参考に、市民活動拠点としてのあり方や、公民館の枠組みの見直しを含めて検討を進めていきます。来年度はフリースペース事業の実証的実施など、南部公民館のあり方を模索し、今後も協議を継続していきます。

質疑等

特に委員から意見等はありませんでした。